

人とツキノワグマの 共存を考える研修会

平成16年と18年に発生したツキノワグマの大量出没は、日本の落葉広葉樹林の生態系の健全さを測るものさしであるツキノワグマが多くの餌を必要とする秋期に、彼らの食物要求に耐えうるだけの「山の実のなり具合」がなかったことや、里山林の壮齢林化により里山林にツキノワグマが生息するようになったことなどの複合的な要因が理由として考えられています。

そこで、今回の研修会では、福井の落葉広葉樹林を再生する際の基本的な考え方や方法、ツキノワグマが主に利用する植生や出没防止に対する電気柵の効果など、大量出没によって崩壊したツキノワグマと人のすみわけについて考える研修会を開催します。

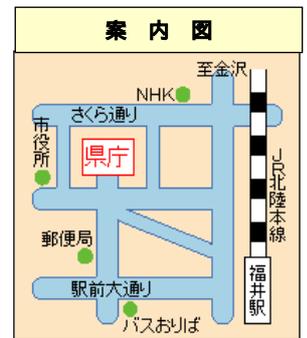
第2回 人とクマのすみわけを考える

平成19年10月11日(木) 午後1時20分～
(開場/午後1時～)

福井県庁地下1階 正庁

(福井市大手3丁目17番1号)

入場無料
ご来場にあたっては公共交通機関をご利用ください。



第1部 講演会 (13:30～15:00)

演題 「落葉広葉樹林の再生の基本とその考え方」

講師 谷本 丈夫氏〔農学博士・宇都宮大学名誉教授〕

演題 「福井の自然植生を考慮した生物多様性緑化」

講師 赤井 賢成氏〔福井県土地改良事業団体連合会 農村環境研究所 主任研究員〕

第2部 行政の取組み (15:10～16:10)

- ・ GPS調査からわかったクマの行動〔福井県自然保護センター〕
- ・ 電気柵の設置と出没の関係〔福井県自然保護センター〕
- ・ 「交流の森づくり」の取組み〔勝山市農林政策課〕

意見交換・質疑応答 (16:10～16:40)

問合せ先 福井県自然保護課 TEL 0776(20)0306(直通)

お申し込み方法

下記事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお申し込みください
当日参加も受け付けいたしますが、会場準備の都合から、事前申込にご協力ください

FAX : 0776-20-0635

E mail : sizenho@pref.fukui.lg.jp

氏名 または 代表者	フリガナ	団体名	
	同伴者がいる場合はその人数 (他)名	連絡先	T E L E - mail

ご記入いただいた個人情報は、上記研修会についてのみ使用します。